



Rotary
Club of Toyohashi
North

CLUB WEEKLY

ROTARY CLUB OF TOYOHASHI-NORTH



2025～2026 年度
RI 会長メッセージ

UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう

豊橋北RC
会長テーマ

利他と言う高みに登る為に
本気でやるべきことを
皆でやりましょう

2760 地区

例会日＝毎週火曜日 12:30 例会場＝ホテルアークリッシュ豊橋 会長 高坂泰弘 副会長 酒井和良 幹事 川口和樹

豊橋北ロータリークラブ 〒440-0075 豊橋市花田石塚 42-1 豊橋商工会議所内 TEL(0532)53-1000 FAX(0532)53-6447

第 3 2 3 9 回例会

2 月 3 日 (火)

vol. 70 No. 22

ゲスト : ヴォザ バオ君(2019 学年度米山奨学生)
ハサン モハammad タンヴィル君(米山奨学生)・ディン ゴック ドゥク君(サンクス奨学生)
ビジター : なし
出席報告 : 会員 61 名 欠席 11 名 出席率 81.97% 前々回修正 98.15%
ロータリーソング : それでこそロータリー
メニュー : 中華

会長挨拶・報告

高坂泰弘会長

本日のゲストは2019 学年度米山奨学生のヴォザ バオ君、米山奨学生のハサン モammad タンヴィル君、サンクス奨学生のディン ゴック ドゥク君です。

ロータリーの方針である「DEI」について今日は深掘したいと思います。

「DEI」の「D」は Diversity=多様性です。様々な肌の色の方々が手を取り

あうイメージです。人種、性別や障害の如何による差別を排除するだけではなく、宗教、性的指向、年齢、習慣等による差異も受け入れることが趣旨となります。これらは普遍的属性であり、各人の努力とは関係なく、ほぼ生まれながらによってカテゴライズされるものである為、社会が配慮していく必要があるのです。

これに対し、個人の能力は各人の努力によって左右され差がつくものです。トランプ大統領が DEI を嫌う理由は、能力があるにも関わらず、普遍的属性が優先され、排除されてしまう逆差別になる為です。

ハリウッドでは人種への配慮が過剰でもあり、例えば Netflix で人気の『ブリジャートン家』では、1800 年のイギリス貴族を黒人が扮するまでになっています。これをポリティカル・コレクトネスと言います。このドラマを見ていると、肌の色など関係なく自然に見えてくるのです。まさに多様性を体感出来る高等な企みがあったのです。多様性を Generosity=寛容で包み込むことが大切なのです。

「E」は Equity=公平性です。塀越しにスポーツの試合などを見る時、身長高さによって楽しめる者と楽しめない者がいます。それを平等にするのが踏台です。しかし同じ高さの踏台では身長の高さは変わりません。それぞれに合った台を配して公平する、これがロータリーの目指す Equity です。しかし、現実では格差が広がっており、金持ちはますます金持ちに、貧乏人はますます貧乏にという状況になっています。日本では 7 人に 1 人が貧困家庭の子供と言われている。

最良の方策は塀を取り払って誰でもが楽しめる世界にすることです。これが Justice=正義ですが、これは政治が行うことであり、私達ロータリアンが目指すのは Equity=公平なのです。

「I」は Inclusion=包括性です。これは帰属意識と一体感で包み込むイメージです。この輪の中にある安心感が重要です。豊橋北 RC という輪の中に包まれているからこそ、自由に発

言でき、公平に扱われるということです。「手に手つないで」の輪の一体感を大切にしなければなりません。

【米山奨学生奨学金授与】

ハサン モammad タンヴィル君



米山奨学生に応募したことは、振り返ると一番良い選択だったと思います。色々な大学の奨学生と仲良くことができ、色々なトピックスについて楽しい時間を過ごすことができました。また熊田カウンセラーとも仲良くさせていただきました。本当に良かったと思います。ありがとうございました。

【サンクス奨学生奨学金授与】

ディン ゴック ドゥク君



9 月に一番目の研究についての論文を提出した後、2 番目の研究を続け、ロボットについてどのようなアプローチを進める

べきかを先生に相談しました。今まで自分が出した研究アイデアを却下されてしまいましたが、何とか新しく出したアプローチにOKが出てとても嬉しかったです。これからその方向で集中して研究を進めていきたいと思います。今日は先輩のパオさんにもお会いできて、励ましの言葉を頂いたので頑張りたいと思います。

【サンクス大使委嘱状授与】 ヴォ ザ パオ君

皆さんこんにちは。2019年から2020年まで米山奨学生としてお世話になったヴォ ザ パオと申します。本日はサンクス大使を委嘱していただき誠にありがとうございます。本日は近況報告として、①家族、②趣味、③仕事についてお話をさせていただきます。

初めに家族についてです。現在、子どもが二人います。長女のハリンが4歳です。毎日とても元気で家の中がかなり賑やかです。長男のミンダンは先週1歳になりました。毎日お姉ちゃんと喧嘩していて、家は戦場のようになっています。現在私の両親が訪日中で一時的に一緒に暮らしています。2/17の旧正月には兄も来日します。私が日本に来て11年が経ちますが、初めて家族全員で日本で旧正月を迎える予定です。

続いて趣味についてです。毎週バドミントンをしています。先月初級者の大会でベスト4まで進みました。冬はスノーボードに行っています。最近娘にスノーボードを教えていて、一緒に滑る日を楽しみにしています。

最後に仕事についてです。現在、㈱モリタアンドカンパニーで生産管理として働いています。簡単に言うと、設計と製造現場の間に立つポジションです。具体的には、部品を社内と社外のどちらで製作するか、社内なら査定時間はどの位か、協力会社に委託するならどこ(日本、中国、ベトナム)で製作するのかなどを決めています。弊社はバネ製造装置のメーカーですが、部品加工事業も行っています。その部品加工の見積もりも担当しています。最近ベトナム子会社の立ち上げにも関わっており、現地の責任者としてプロジェクトを進めています。その為、ベトナムと中国に年に数回行っています。

学生時代にロータリーの皆様からご支援を頂いたお陰で沢山の経験をする事ができました。社会人になって進んで行けばいくほど自分が小さく感じられます。これからもこの気持ちを忘れずに、少しずつ成長していきたいと思っています。



幹事報告 川口和樹幹事

- ①豊橋北 RC 細則改正のお知らせ、財団寄付・米山寄付の確定申告用領収証を状差しに配布(欠席者は郵送)しました。尚、細則の改正については2/24の例会での承認を予定しております。不承認の方はその5日前までに幹事にお申し出ください。
- ②クラブHPに更新を会員の方へメールでお知らせする機能が追加されました。メールが不要な方、送信先アドレスの変更を希望される方は事務局へご連絡ください。
- ③IM登録者の方は登録料のお支払いをお願いいたします。

例会変更

- 2月25日(水) 渥美 RC 豊橋東 RC
- 2月26日(木) 豊橋 RC
- 2月27日(金) 蒲郡 RC 新城 RC

例会休会

2月25日(水) 豊川 RC

委員会報告

ロータリー財団委員会

安達道行委員長

山本和正会員より 180 ドルの寄付がありました。ありがとうございました。

米山記念奨学委員会

藤城寿彦副委員長

西村良彦会員、山本和正会員より 1万円の寄付がありました。ありがとうございました。

豊橋北 RC 奨学金基金委員会

藤井純一委員長

渡辺康二会員より 1万円、西村良彦会員より 2千円、下山暢子会員、金森正芳会員、村田裕会員、安達道行会員、石川誠会員、川口和樹会員、田崎政秀会員、小林利生会員、橋本努会員、辻直樹会員、藤城寿彦会員、高畑直司会員より 1千円の寄付がありました。ありがとうございました。

職業奉仕委員会

小森宇生也委員長

次回2/17は職場訪問例会です。場所は豊橋市バイオマス活用センター、集合時間は10:20、例会開始は10:30からとなりますのでご注意ください。

青少年奉仕委員会

辻直樹委員長

2/24の例会は、青少年交換プログラム派遣候補生で橋本努会員のご息女である橋本美空さんに海外留学を決断した経緯や現在の心境などについてお話をさせていただきます。

ニコニコボックス

氏原憲志会場委員

金森正芳会員	パオ君、元気なお姿拝見できて嬉しいです。
酒井和良会員	本日の例会を担当させていただきます。
小森宇生也会員	次回の例会を担当させていただきます。会場、時間共々、通常と異なりますのでお間違えの無いよう宜しくお願いします。
藤井純一会員	本日イニシエーションスピーチをさせていただきます。
氏原憲志会員	1月からSB発表を担当させていただいております。
高坂泰弘会員 川口和樹会員	藤井純一会員、吉村伸一会員、本日のイニシエーションスピーチ期待しております。

本日のプログラム

担当：クラブ奉仕

【イニシエーションスピーチ】

酒井和良委員長



本日の例会はクラブ奉仕委員会担当のイニシエーションスピーチです。野村證券豊橋支店長の藤井純一会員、豊橋ステーションビル代表取締役社長の吉村伸一会員にお話をさせていただきます。お二人には、普段なかなか聞くことのできないようなお話を伺うことができるのではないかと楽しみにしております。それではよろしく

お願いいたします。



藤井純一会員

藤井純一です、よろしくお願いいたします。私は両親、姉、弟の5大家族で育ちました。出身は和歌山県橋本市です。現在は妻、長男、次男の4大家族です。自宅は東京の日本橋で今は単身赴任をしています。

出身は和歌山と申し上げましたが、正確に言えば大阪の吹田市江坂生まれの和歌山育ちです。幼稚園の年少時代は横浜で過ごしており、年中の時に江坂に戻りました。

小学校1年生の途中で和歌山県橋本市に引っ越しました。橋本市は人口5.8万人程の小さい町です。幼稚園時代を過ごしていない土地だったので、最初は友達がいませんでした。恥ずかしがり屋で泣き虫だったので、よくベソをかいて家に帰っていたという記憶があります。結果的には、小さい町で転校生ということで皆が興味を持ってくれて、友達が増えたので良かったと思います。

3年生の時から少年野球を始め、ピッチャーとレフト、5番打者を務めました。メンタルが弱く大一番に弱い選手でした。所属していたチームは準優勝は数回ありましたが、優勝したことがありませんでした。6年生の時の決勝戦、7対4で勝っていて自分はレフトを守っていた時にレフト前ヒットを打たれ、トンネルをしてしまい大逆転をされてしまいました。ピッチャーは中継ぎをやっていましたが、火消しでは無く火付けでした。レベルは低くなかったと思うのですが、試合ではストライクが入らないというメンタルの弱さでした。

中学、高校時代もさほど変わりません。中学でも野球部に所属していましたが、何となく続けていたという感じです。とにかくエラーしないように目立たないように頑張っていたので、うまくやる訳も楽しい訳でもありません。卒業式の時に「第二ボタンをください」と言われて、初めて女性を意識しました。「好きな子いますか」という質問に、「たくさんいます」と答えたことを覚えています。

高校は私立に進学し、部活には入らず勉強を頑張ったふりをしました。小学校中学校と変わりなく自信のない子どもだったので、やんちゃなグループに入って背伸びをしていましたが、他の人を見てそれに合わせている自分や背伸びしている自分に自己嫌悪も感じていました。

勉強しているふりだったので当然一浪した後、彦根市にある滋賀大学に入学しました。滋賀大学は人数が少ない大学で、仲間意識が強く皆仲が良かったです。自己肯定感も高まって自信もつき始めました。バイトを始めたことも良かったのだと思います。彦根市は城下町なので繁華街が栄えており、そこでボーイのバイトをしており、お店のマスターやママにとっても可愛がってもらえました。仕事をして大人の社会を垣間見て、そこで可愛がってもらえたということで頑張りがたくなります。任される仕事も増えて自信がつき、この頃から自分のことを好きになりはじめました。楽しい大学時代だったと思います。

1994年に野村證券に入社し、横浜支店に配属となりました。非常に大変で、大学の時につき始めていた自信がまたなくなってしまった感じです。仕事が大変で、本当に自分は弱いと感じた1か店目でした。毎日朝5時に起きて、飛び込みをして名刺を集め、帰ってから手紙を送るという生活で、二度と戻りたくないと思っています。大変ではありましたが、周囲の人達には本当に助けられました。仕事は出来ていなかったと思いますが、頑張っている姿を見てくれている人達がいるので、そういった人達のお陰で今も頑張ることができているのだと思います。

2か店目のさいたま支店では、新人について仕事を教えるイン

ストラクターに任命されました。また支店長などと交渉を行う支部代表という役もやらせていただきました。その中で責務を果たすことの楽しさ、嬉しさを学びました。またこの私生活ではこの時期に結婚しました。

その次は新潟支店に配属になりました。この時までにはインストラクターを4回やらせていただいております、課長にもなってより仕事の幅が広がり楽しくなってきました。しかし、3か店目である程度仕事もできるようになってきた状況の中で、リーマンショック(2008年)が起きました。何よりもお客様にご迷惑をかけたということが心苦しく、またマーケットの怖さも知りました。提案以外にも本業支援や相続対策なども行っていかなくては行けないと感じたのが、この新潟支店でした。

この時に長男が誕生していますが、先天性の心臓病を持っていました。人工弁は入っていますが、今は長男も元気に生活しています。この時、新潟では手術ができず、静岡県立こども病院の坂本喜三郎先生という方に執刀していただくことになりました。

そういったこともあって静岡への異動希望を出し、沼津支店に配属になりました。本来であればそれまでのお客さんを引き継ぐ形になるのですが、自己都合による異動だったのでほぼゼロからのスタートとなりました。当時の支店長を連れ回して、とにかく頑張りました。

その次に配属されたのが千里支店です。初めて営業次席という責任者になりました。課長であればその部下は5~6名ですが、営業次席になると50名程の部下がいるということになります。身近な人だけに発信するのと、全体に発信するのでは全く違います。マネージメントの難しさを感じた時代でした。

その後は広島支店に配属され、100名というより大きな組織で営業責任者を務めることになりました。千里支店のやり方が通じず苦労しましたが、一人一人としっかり対話して、フォロワー=味方を増やすことの重要性を学びました。

その次は本社リテール業務管理部に配属されました。営業を23年間やっていた人間が、本社のコンプライアンス部門の担当部長を務めることになったのですが、非常に良かったと思います。現場と本社の視点、営業とのコンプラといった異なる視点で見ると言うことが大変勉強になりました。コンプライアンスについて全く知らない自分が、コンプライアンスについて教えるというもおかしな話ではありましたが、自分ができると言うことの大切さを学ぶことができました。

そして2024年4月に現在の豊橋支店に配属となりました。「人の為になにかをする」ということが、私の性質的に一番力が発揮できると感じており、支店のメンバーにも最強のサポーターになるということが自分のパーパスだと常に言っています。

私は人の前で話をすることが非常に苦手だったのですが、自信のなかった自分が今ここに立って、皆さんの前で話をさせていただき、今が一番楽しいと感じています。これもひとえに三皆さん、お客様のお陰だと思っておりますので。引き続きよろしくお願いいたします。

最後に、野村證券は1925年に89名でスタートし、昨年100周年を迎えました。現在の従業員は2万7,242名、100年でここまで大きくなりました。その内、日本人が1万4,000名なのでグローバルな会社でもあります。アジア・オセアニアが6,800名ですが、内5,000名がインドの方です。これからも野村證券をよろしくお願いいたします。



吉村伸一会員

吉村伸一です、よろしくお願ひいたします。本日は「豊橋と新幹線とカルミア」というタイトルでお話をさせていただきます。

初めに豊橋ステーションビル会社概要です。地上4階地下1階で店舗面積は10,832㎡、店舗数は現在93店舗です。

2024年度実績で、総売上は7,336百万円、レジ客数は19,092人/1日平均となっております。正社員数20名しかおらず、JR東海グループの中でも規模としては小さいということになります。

1950年4月に戦災復興により豊橋駅の新駅舎が開業、1969年2月に豊橋ステーションビルが設立し、1回目の大阪万博が開催された年である1970年に開業しました。グループ会社・子会社と言いながら、JR東海は57.5%、6割弱の資本構成しかありません。豊橋市から25.0%、その他サーラエナジー、ヤマサちくわ、ユタカコーポレーション、豊橋飼料、東海交通、豊橋信用金庫、豊橋商工会議所からもご出資いただいております、JR東海グループの中でも少し特殊な会社です。翻って地域に非常に密着している会社ということでもあります。

豊橋ステーションビルの初代社長は当時の豊橋市長である河合陸郎氏でした。第3代が大一青果社長の河合圭吉氏、第4代が中部ガス社長の神野信郎氏と、地元の名士の方々が務められてきました。またグループ内の駅ビルの中で唯一カルミアに名店会というものがあり、初代と第3代の名店会会長はそれぞれヤマサちくわの佐藤利雄氏、佐藤元彦氏で、現在の会長は佐藤元英会員が務められています。

続いては新幹線の話になります。東海道本線では元々、東京から神戸までの在来線で特急こだま号が走っていました。国鉄時代の特急列車はパールオレンジ(クリーム色)に赤い帯をまとった車両で、新幹線も最初は赤とクリーム色でデザインが考えられていました。しかし『新』幹線'な'のだから新しいデザインをという国鉄当局の方針により、諸説ありますがタバコのハイライトのブルーと白、もしくはパンナム航空の青と白を参考にして初代0系がデザインされたと言われております。

在来線の特急こだまでは、東京～新大阪間が6時間30分かかっていました。1964年に開通した当初の新幹線初代ひかりは、技術的に安全性に若干の不安もあり、東京～新大阪間を余裕を見て4時間かけて運行していました。安全性が確認され、翌年には3時間10分に短縮されました。その後、1992年に誕生したのぞみで最高速度が一気に220km/hから270km/hとなり、N700Aで最高速度が285km/hとなりました。現行ではのぞみ64号と256号が東京～新大阪間を2時間21分で結んでいます。

開業当時の東海道新幹線の時刻表は、ほぼ30分に1本(1時間にひかりとこだまが各1本ずつ)でした。1964年開業当時の1日の平均運転本数は60本でしたが、2024年8/9の過去最多本数では1日に483本の新幹線が運行されていました。日本の新幹線は最高時速がよく取り沙汰されますが、この運行密度こそが新幹線の世界に誇れるものであると思います。この密度での運行は恐らく日本以外ではできないと思います。

2026年の3/14にダイヤが改正され、のぞみの1時間あたりの運転本数が現行の12本から13本になります。ひかりとこだまがそれぞれ2本で合計16本/1時間となり、平均で3分45秒の密度で新幹線の運行がなされるということになります。

「豊橋って、どんなところ」ということを私なりに考えてみました。個人の感想ですのでお気を悪くなくさらないでください。

- 1 東三河の中核都市
- 2 「共働き子育てのしやすい街」全国第3位(着任当時)
- 3 「尾張」でも「西三河」でも「遠州」でもない
- 4 西三河がライバル、遠州に親近感、尾張は論外
- 5 百貨店はもう無いが、農工商のバランスが良い
- 6 郷土愛が非常に強く、地元の絆や団結心が高い
- 7 よそ者でも受け入れてくれる
- 8 カルミア周辺には学生と中高年女性が多い
- 9 オフィスとオフィスワーカーは少ない
- 10 フォルクスワーゲン・ジャパンの本社がある

以前あった西武百貨店は2003年に、ほの国百貨店(旧豊橋丸栄)は2020年に閉店しました。逆に近隣では2023年にイオンモール豊川が開業しています。

また、他の地域から来た身として豊橋駅を見ると少し変わった駅だということを感じます。

- 1 日本初の「民衆駅」
- 2 東海道新幹線17駅中3駅しかない地上駅
- 3 3社6路線が乗り入れる鉄道集積地
- 4 全国でも数少ない路面電車が走っている
- 5 のぞみを停めろ、ひかりを増やせと言われぬ
- 6 東急の二子玉川駅より乗降人数が多い時もあった

豊橋で新幹線が地上駅になった理由は城海津跨線橋があるからだそうです。国鉄当局は当時、跨線橋を撤去すると言ったようですが、地元の行政がそれを拒否したそうです。上を通す為に3階建てにするのは予算的に厳しく、逆に地下を通すには周辺に河川が多く災害時に水没の危険があるということで、結局地上駅になったということです。

豊橋駅は1997年に増床リニューアルオープンし、この時にホテルアソシア豊橋が開業、2020年にカルミアの1、2階が内装リニューアルオープンしました。しかし、躯体としては築56年の非常に古い駅ビルのままであり、それを耐震補強して増床している訳です。豪雨による雨漏り、夏季の猛暑対策、冬季の寒さ対策、館内・駐車場棟の安全対策、事故・災害時対応等に苦慮しており、現在経営課題として直面しているところでもあります。

皆様も実感されていると思いますが、豊橋駅は非常に暑い駅です。特にコンコースが顕著です。去年はカルミア入り口付近の店内温度が31度にまで上昇してしまい、急遽業務用扇風機を設置して対応しました。

これは東西自由通路の構造に原因があります。当駅では自由通路が2階にある為、上下左右から熱を受けて温められることとなります。通路の西側から東側に緩やかに風が流れているので、天井が低くなるカルミアの入り口付近で通路高圧、館内負圧ということになり、その結果、熱気や冷気が入ってきてしまっているということのようです。

2024年の7月にJRの保守用車の脱線事故により運行が止まった際には、Instagramで「豊橋駅のコンコースが大混雑 普段も冷房なくて蒸し暑いのに地獄と化してる」という投稿もありました。この時は豊橋市の要請により、空調をフル稼働の上、カルミア館内出入口扉全て開放しました。その結果、7月の電気代負担が対前年同月比300万円増ということになってしまいました。どこからも補填がなかったため、弊社が全額負担し、経営が圧迫されました。

南海トラフ巨大地震では豊橋市の想定震度は7となっております。因みに中央新幹線は二重構造化の為、想定震度の比較的低い地域が運行経路となっております。1年半前に南海トラフ地震臨時

情報が発表された時、私は豊橋に着任後でしたのでその対応を行いました。

- 1 お客様・スタッフ避難誘導経路等の確認
- 2 水・非常食の確認(備蓄数・賞味期限)
- 3 津波・液状化被害想定確認(想定なし)
- 4 不足備品確保(簡易トイレ100セット購入)
- 5 非常用電源の確認(発電機エンジン給油)
- 6 平成7年耐震診断実施(増床時耐震補強済み)

災害が起きると駅は必ず人が滞留する場所になりますので、この様な対応が必要となります。

豊橋駅内には非常用発電機が設置されており、ヤンマー製の直噴6気筒20000ccで13時間の発電が可能となっています。数年前に豊橋駅で停電が起きた時にも使われたそうで、A重油満タンで336ℓのところ重油が減っていました。使ったなら補充をしておけということで給油作業を行いました。何故軽油ではなくて重油なのかというと、費用が安いというだけではなく、普段から使うものではないので軽油よりも重油の方が劣化しにくいという理由もあるそうです。

豊橋ステーションビルは、地域の「ご縁」を繋げ東三河地区の更なる活性化にも微力ながら邁進しております。豊橋の強みとは何でしょうか。先程少し触れましたが、過去に豊橋駅と二子玉川駅の乗降者数がほぼ匹敵していた時期がありました。人口は世田谷区が約92.3万人、豊橋が約34.7万人で3:1ですが、路線数は二子玉川の1社2路線に対し、豊橋は3社6路線で逆転現象が起きています。どちらも住みたい街として挙げられますがその理由は異なっています。路線の特徴も二子玉川が主として生活路線であるのに対し、豊橋はそれに加えてビジネス観光路線、ローカル線と3つの要素を持っています。

また豊橋には、ちくわ、いなり寿司、あん巻き、うずら、大葉、メロン、生花などの特産品があり、産業面では輸入自動車の台数、金額で日本一の三河港、近隣には国内最大級の佐久間ダムもあります。こういったものとコラボレーションを行い、地域の皆様に情報発信し、来館いただくきっかけとしていきたいと考えています。

老朽化したビルではありますが、豊橋の最後の商業集積施設となってしまいましたので、リニューアルなども視野に入れ、引き続き地元に貢献していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。



監修・発行	会場委員会
写真撮影	会場委員会